

磁器製相間スペーサ 概略仕様書

1. 適用範囲

66kV架空送電線路の相間に取り付けることにより、相間隔を規定間隔に保ち、スリートジャンプおよびギャロッピングを抑制する、磁器がいしを使用した相間スペーサに適用する。

2. 用途

66kV架空送電線路

3. 性能

(表1) 基本性能

項目		性能
総合性能	外観	外観上、有害な異常がないこと。
	寸法	検査申請者作成の図面のとおりであること。ただし、表面漏れ距離は、2,892mm以上、がいし部有効長1,900mm以上。
	亜鉛めっき付着量	連結部 500 g/m <sup>2</sup> 以上、ボルト類 350 g/m <sup>2</sup> 以上
	電線把持クランプ構造	導体相互の間隔、形状を適切に把持でき、電線に悪影響を与えず、安定した把持力が得られること。
電気性能	商用周波注水耐電圧	69 kV以上
	雷インパルス耐電圧	960 kV以上
	汚損耐電圧	69kV以上 (ESDD=0.50mg/cm <sup>2</sup> )

項目		性能
機械性能	引張破壊強度	29.5 kN 以上
	曲げ破壊強度	1,324 N-m 以上 (曲げ破壊モーメント)
	捻回把持力特性	電線張力 28%UTS, スペーサ間隔 15m, 捻回角度±180° で 10 回捻回させて、相間スペーサ端末金具部とクランプ部で緩みがなく、電線およびクランプ部に異常がないこと。
	繰返し捻回性能	電線張力 28%UTS, スペーサ間隔 15m, 捻回角度±30° , 繰返し周波数 2Hz, 1×10 <sup>6</sup> 回繰返し捻回させて、相間スペーサ端末金具部とクランプ部で緩みがなく、電線およびクランプ部に異常がないこと。
	垂直方向振動性能	電線張力 28%UTS, 振動周波数 20~40Hz, 振幅±1mm または振幅±1mm で発生するクランプ付近の電線歪, 1×10 <sup>7</sup> 回繰返し振動させて、相間スペーサ端末金具部とクランプ部で緩みがなく、電線およびクランプ部に異常がないこと。

4. 検査

検査は、物品審査または受入試験とし、試験は原則として製造工場で行う。